安全データシート

作成日:2018年9月1日 改訂日:2025年6月1日

1. 化学品及び会社情報

化学品等の名称: SATO MF インキ (赤)

供給者の会社名: 株式会社サトー

住所: 岩手県北上市北工業団地1番25号

担当部門: 株式会社サトー 品質統括部 電話番号: $0\ 1\ 9\ 7 - 6\ 6 - 4\ 9\ 8\ 4$ FAX 番号: $0\ 1\ 9\ 7 - 6\ 6 - 4\ 9\ 8\ 5$

推奨用途: ハンドラベラー用インキローラー

使用上の制限: 推奨用途以外の使用は専門家の判断を仰ぐこと

2. 危険有害性の要約

インキの GHS 分類を示す。製品はインキをローラーに塗工した成形品であり、GHS 分 GHS 分類

類の対象外である。

物理化学的危険性 分類できない

健康に対する有害性

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2 (呼吸器)

環境に対する有害性 分類できない

上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しない、分類対象外、分

類できないのいずれかに該当する。

GHS ラベル要素



注意喚起語 警告

> H373 長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害のおそれ(呼吸器)

安全対策

粉じん/煙/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。(P260)

応急措置

気分が悪い時は、医師の診察/手当を受けること。(P314)

廃棄

内容物/容器を廃棄物処理法及び地方自治体の条例に従って廃棄す

ること。 (P501)

3. 組成及び成分情報

インキの組成及び成分情報を示す。製品は成形品であり、成分情報は対象外である。

単一化学物質・混合物の区別: 混合物

化学名または一般名

化学名または一般名	濃度または 濃度範囲	(化審法)	(安衛法)	CAS RN®
硫酸バリウム	1~5%	1-89	既存	7727-43-7
非公開	95~99%	既存	既存	非公開

4. 応急措置

インキ部分に触れた場合は、以下の措置を行う。

吸入した場合: 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休

息させること。

呼吸をしていない場合は人工呼吸、呼吸が困難な場合は酸素供与

を実施する。マウスツーマウスは避けること。

気分が悪い時は、医師の診察/手当てを受けること。

皮膚に付着した場合: 多量の水で洗うこと。

皮膚刺激または発しん(疹)が生じた場合:医師の診察/手当てを

受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して

いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

上下のまぶたの裏側も含めて、注意深く洗う。

眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。

意識のない場合、口から何も与えないこと。

嘔吐を誘発しないこと。

嘔吐した場合、誤えん防止のため被災者の頭を低く保つこと。

気分が悪い時は、医師の診察/手当てを受けること。

医師に対する特別な 対症療法

注意事項: 本 SDS を提供すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤: 粉末消火剤、噴霧水、泡消火剤、二酸化炭素

使ってはならない消火

剤:

データなし

特有の危険有害性: 可燃性物質ではないが、燃焼により炭素及び窒素酸化物、刺激

性の煙を発生する可能性がある。

衝撃や静電気の影響は受けない。

特有の消火方法: 消火活動は風上から行う。

火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

安全に対処できるならば着火源を除去すること。

消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消火を行う者の特別な

自給式呼吸器 (SCBA)、眼や皮膚を保護する耐熱性の完全防護

服を着用する。

保護具及び予防措置:

6. 漏出時の措置

インキ部分が漏出した場合、以下の措置を行う。

人体に対する注意事項・ 作業者は適切な保護具(『8.ばく露防止措置及び保護措置』の

保護具及び緊急時措置: 項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。

全ての着火源、熱源を取り除く。

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。

関係者以外の立入りを禁止する。

密閉された場所に立入る前に換気する。 風上から作業し、風下の人は待避させる。

漏出物を回収すること。

環境に対する注意事項: 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさない

ように注意する。

汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように

注意する。

封じ込め及び 漏出物を封じ込め、不活性材料(乾燥砂、土、珪藻土、バーミ

キュライトなど)で吸収し、行政の規制に従って密閉できる容

器に回収する。

二次災害の防止策: 環境規制に従って汚染された物体及び場所をよく洗浄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

浄化の方法及び機材:

取扱い:

技術的対策: 『8.ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護

具を着用する。

安全取扱注意事項: 粉じん/煙/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

皮膚、眼との接触を避けること。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

環境への放出を避けること。

接触回避: 『10. 安定性及び反応性』を参照。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

衛生対策: 指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。

取扱後は手や眼をよく洗うこと。

休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではならない。

汚染された保護衣は、再使用する前に洗うこと。

保管:

安全な保管条件: 直射日光を避けて、涼しく乾燥した換気の良い場所に保管す

ること。

安全な容器包装材料: 供給者が提供した容器と同等の材質

8. ばく露防止及び保護措置

インキのばく露防止及び保護措置を示す。

化学名または一般名	管理濃度	許容濃度 (産衛学会)	許容濃度 (ACGIH)
硫酸バリウム	設定なし	設定なし	TLV-TWA 5mg/m3 (I)

設備対策: ばく露を防止するため、装置の密閉化又は局所排気装置を設

置すること。

本製品を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワー

を設置すること。

保護具:

呼吸用保護具: 適切な保護マスクや呼吸用保護具

有機ガス用防毒マスク

リスクアセスメントにより空気清浄呼吸器が適切と判断された場合、多用途呼吸器や全面防護マスクを使用する。規格に

適合する呼吸器及び構成部品であること。

呼吸用保護具のみの場合、給気式全面防護マスクを着用する

こと。

手の保護具: リスクアセスメントに基づいた適切な保護手袋を着用するこ

上。

手袋は使用前に必ず検査し、適切な外し方をすること(手袋の外面に触れずに手袋を脱ぐことで皮膚接触を防止する

等)。

眼、顔面の保護具: 保護眼鏡(側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)。

皮膚及び身体の保護具: 適切な保護衣、顔面用の保護具を着用すること。

長袖作業衣、安全靴。必要に応じて不浸透性の素材を選択す

ること。

9. 物理的及び化学的性質

インキの物理的及び化学的性質を示す。製品は固体である。

形状: 液体

物理状態: 粘稠液

色: 赤色

臭い: 微臭

融点/凝固点: データなし

沸点又は初留点及び沸点範 データなし

囲:

可燃性: データなし 爆発下限界及び爆発上限界/可 データなし

燃限界:

引火点:データなし自然発火点:データなし分解温度:データなしpH:データなし動粘性率:データなし

溶解度: 水にわずかに溶解

n-オクタノール/水分配係数:データなし蒸気圧:データなし密度または相対密度:データなし相対ガス密度:空気より重い粒子特性:データなし

その他: 蒸発速度:n-ブチルアセテートより遅い

10. 安定性及び反応性

反応性: 常温において反応性はない。 化学的安定性: 正しい取扱いや保管では安定。

危険有害反応可能性: データなし

避けるべき条件: 混触危険物質との接触、加熱、火炎を避けること。

混触危険物質: 強酸化剤、強還元剤、酸

危険有害な分解生成物: 一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物

11. 有害性情報

インキの有害性情報を示す。製品は通常の取扱い時には有害性はない。

急性毒性(経口): 分類できない

データ不足のため分類できない。

急性毒性(経皮): 分類できない

データ不足のため分類できない。

急性毒性(吸入: 気体): 分類対象外

製品は、GHS 定義による気体ではない。

急性毒性(吸入:蒸気): 分類できない

データ不足のため分類できない。

急性毒性(吸入:粉じ 分類できない

ん・ミスト): データ不足のため分類できない。

皮膚腐食性・刺激性: 分類できない

データ不足のため分類できない。

眼に対する重篤な損傷・ 分類できない

眼刺激性: データ不足のため分類できない。

呼吸器感作性: 分類できない

データ不足のため分類できない。

皮膚感作性: 分類できない

データ不足のため分類できない。

生殖細胞変異原性: 分類できない

データ不足のため分類できない。

発がん性: 分類できない

データ不足のため分類できない。

生殖毒性: 分類できない

データ不足のため分類できない。

生殖毒性・授乳影響: 分類できない

データ不足のため分類できない。

特定標的臓器毒性(単回 分類できない

ばく露):

データ不足のため分類できない。

特定標的臟器毒性(反復 区分2(呼吸器)

ばく露):

区分1:硫酸バリウム

製品は、硫酸バリウムが 1%以上 10%未満であるため、区分 2 (呼吸

器) に該当。

メーカーは分類していない。

誤えん有害性: 分類できない

データ不足のため分類できないとした。

12. 環境影響情報

インキの環境影響情報を示す。製品は通常の取扱い時には環境への影響はない。

水生環境有害性短期 分類できない

(急性): データ不足のため分類できない。

水生環境有害性短期 分類できない

(慢性): データ不足のため分類できない。

生態毒性: データなし

残留性・分解性: データなし

生体蓄積性: データなし

土壌中の移動性: データなし

オゾン層への有害性: 分類できない

本成分はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物: 廃棄においては、廃掃法及び関連法規並びに地方自治体の基準

に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしく は地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託し

て処理する。

廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を

充分告知の上処理を委託する。

汚染容器及び包装: 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治

体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制 データなし

国内規制

陸上規制情報 消防法の規制に従う。

海上規制情報 船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報 航空法の規定に従う。

輸送又は輸送手段に関す

る特別の安全対策

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。

転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行

う。

15. 適用法令

インキの適用法令を示す。製品は非該当である。

労働安全衛生法: 名称等を表示すべき危険有害物(法第57条第1項)

名称等を通知すべき危険有害物(法第57条の2)

• 硫酸バリウム

(規則別表第2の2238。令和7年4月1日施行)

毒物及び劇物取締法 非該当

化学物質排出把握管理促

進法(PRTR法)

非該当

消防法製品は非危険物

インキは第4類第三石油類(非水溶性)に該当

水道法 法第4条(硫酸バリウム)

16. その他の情報

参考文献: JIS Z 7252:2019

JIS Z 7253:2019

事業者向け GHS 分類ガイダンス(令和元年,経済産業省)

化学物質総合情報提供システム(CHRIP) (NITE)

ECHA(REACH 登録情報)

製造元メーカー提供資料

その他:

記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて 作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する 全ての情報が検討されているわけではありませんので、いか なる保証をなすものではありません。

なお、新しい知見及び試験等により改正されることがありま す。

また、注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものです。 全ての化学製品は、未知の有害性があり得る為、取り扱いに は細心の注意が必要です。

ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願い申し上げます。